

平成 27 年 度 学 校 評 価

学校目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	学校評価
	具体的な手立て	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		
確かな学力の向上と、スポーツリーダーコースの特色を生かした教育の推進。	<p>① 一般コース（進路希望別クラス編成）、スポーツリーダーコースの特徴や目標を明確化し、それぞれに応じた授業改善を進める。</p> <p>② スポーツリーダーコースの教育内容を精査し、ニーズに合った授業方法を工夫し、その成果を一般コースの活動に還元する。</p> <p>③ 生徒の授業への取り組み状況を的確に把握し、その状況に応じた学習指導を充実させる。</p> <p>④ 校内研修を計画的・組織的に進め、組織的な授業改善に取り組む。</p>	<p>① 各コースの特色化の状況と『生徒による授業評価』による授業の理解度及び進路希望別クラス編成の検証</p> <p>② 目標に適した生徒の到達度の把握</p> <p>③ 「生徒による授業評価」等の分析と指導内容</p> <p>④ 授業改善研修会の実施回数及び研修内容</p>	<p>① 職員・生徒のアンケートから、進路希望別クラス編成の検証を行った。</p> <p>② スポーツリーダーコースの教育内容について検討した。</p> <p>③ 2・3 学期末に「生徒による授業評価」を行い、分析・改善を行った。</p> <p>④ 「授業見学週間」「特別研究授業」を行い、生徒主体の授業を研究した。また、ICT 授業について大学の准教授の講義を行った。</p>	<p>① 検証結果を踏まえ H29 年度クラス編成案を作成する。</p> <p>② 高校改革の「スポーツリーダーコース」廃止を受けてコース授業の成果を生かしたカリキュラム作成を行う</p> <p>③ 引き続き「生徒による授業評価」を実施し指導内容の改善を行っていく。</p> <p>④ 研究授業を生かし実際の授業への応用を考える。ICT 活用は実践的な活用方法を研究していく。</p>	<p>&lt;評議員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生徒による授業評価」で教員が委縮することがないように支援が必要である。どう改善につなげたか検証すべきである。</li> <li>・スポーツリーダーコースは特色なので発展的解消をPRする。</li> </ul> <p>&lt;保護者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路希望別クラス編成は効果がある。アドバンスの中の一般受験と推薦を分けてほしい。</li> <li>・スポーツリーダーコースはあるほうがよい。</li> </ul>	<p>おおむねA</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の進路実績を踏まえると、進路希望別クラス編成の取り組みは大変効果的であった。当然、そのクラス編成の中で実施された授業における目標も、十分達成できたと評価できる。</li> <li>・スポーツリーダーコースの進路実績も昨年に引き続き好調であった。教育活動や授業の取組が生徒育成に結び付いた。</li> </ul>
個々の生徒の進路希望に応じたきめ細かなキャリア教育の実践。	<p>① 生徒個々の進路に関するデータを作成し、担任・学年やキャリア教育グループによる組織的進路指導に活用し、進路希望の実現を図る。</p> <p>② FOM(総合的な学習の時間)における就職・進学等の分野別進路ガイダンスを充実させる。</p> <p>③ 高大連携やインターンシップなど地域の企業との連携を通して、生きる力の育成を図る。</p> <p>④ 放課後補習、土曜講習や長期休業中の講習を充実させ、生徒の進路希望の実現を図る。</p>	<p>① 組織的な指導の状況や進路実績</p> <p>② ガイダンスの実施回数や指導内容と生徒・家庭の満足度</p> <p>③ インターンシップの参加者数と参加企業数および進路希望の明確化と進路実績、希望到達実績と満足度</p> <p>④ 各種補習・講習の参加状況と進路希望の実現状況</p>	<p>① 進路希望調査を模試データと照らし面談に活用。</p> <p>② 学年と連携をとりガイダンスは予定通り実施。</p> <p>③ インターンシップの参加者数は28名。昨年度の倍の人数である。</p> <p>④ 放課後補習は、定期試験前に担当者が個別に実施。土曜講習は部活動との関係で定期的に実施。夏期講習は10講座を開講し53名が受講した。</p>	<p>① 個人データ票の作成等、組織的な指導の流れを検討する。</p> <p>② ガイダンスは今後も継続し計画的に実施する。</p> <p>③ 体験的な職業学習により、進路決定に対する意欲の継続と向上を今後も図っていく。</p> <p>④ 就職試験に対応した講座など、進路希望に即した、新たな講座の開設を継続して検討していく。</p>	<p>&lt;評議員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターンシップの増加は評価できるので、今後も増加傾向を維持してもらいたい。なぜ増えたかの分析が重要である。</li> <li>・土曜講習を中学生に拡大するのが一案である。</li> </ul> <p>&lt;保護者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の大学見学は良い取り組みである。</li> </ul>	<p>おおむねA</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路実績は近年、類を見ないほど、大幅に改善された。生徒が自らの資質を向上させ、さらなるステップアップを図り挑戦した結果である。</li> <li>・あきらめない生徒像が定着しつつある。教育力向上講演会の効果もある。</li> </ul>
「一人は一人を代表する」をキーワードに、規範意識の定着に努めるとともに、教育相談体制の充実を図り、安全安心な学校運営に努める。	<p>① 定期的な学年集会等を通して、自己の規律意識や自律心の醸成を促し、学校全体の取り組みとする。</p> <p>② 教育相談・個別支援体制やいじめ防止に対し、研修を通じて職員全体への周知と能力の向上を図る。</p> <p>③ 生徒の自主的な健康管理を促し、基本的な生活習慣の定着に努める。</p> <p>④ 部活動を通して、基本的な生活習慣の確立に努め、規律意識や自律心の醸成を促し、個々の取り組みが集団や学校全体の取り組みとなるように努める。</p>	<p>① 学年集会の実施回数と指導内容と生徒の意識の変化</p> <p>② 全体研修やケース会議の実施状況と組織的取り組み状況</p> <p>③ 健康や生活に関する調査の分析と指導への反映状況</p> <p>④ 部活動の成果や実績、外部からの評価</p>	<p>① 車内と自転車通学マナーについて苦情があった。部活顧問や毎月の学年集会での指導により改善した。</p> <p>② 職員人権研修の中でいじめや生徒の人権について取り上げた。ケース会議は実施しなかったがカウンセリングの件数が例年よりも多かった。</p> <p>③ 健康相談を通じて生活習慣の改善を個別指導した。</p>	<p>① 新入生への指導と在校生に対しての指導を徹底する。</p> <p>② ケース会議は必要に応じて実施する。個別支援を必要とする生徒には個々に対応する。いじめについては継続して防止を図る。</p> <p>③ 健康課題のある生徒を認識し、良好な生活につながるように保健指導を進めていく。</p>	<p>&lt;評議員&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ問題への対応では、教員の人材育成が必要である。</li> <li>・生徒指導に上級生の役割を加味する。挨拶等、地域評価は高い。</li> <li>・生徒の健康課題は何か、明確にしてほしい。</li> <li>・守るべきルールは守る、という姿勢を生徒に提示すべきだ。</li> </ul> <p>&lt;保護者&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・頭髪服装指導は良い取り組みだ。子供も意識しているので規範意識醸成に効果的である。</li> <li>・部活動の実績が素晴らしい。</li> </ul>	<p>おおむねA</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗車マナーについてはトラブルもあったが、苦情情報は確実に減少した。</li> <li>・生徒の登下校についての近隣の評価も高まっている。</li> <li>・カウンセリングの効果が高い。学校生活が安定したり、親子関係において改善が見られたりと教育的意義は深い。</li> <li>・部活動実績は飛躍的な伸びである。</li> </ul>

<p>特別活動の活性化とリーダーシップの育成を目指す。</p>	<p>①1年次の部活動全入制を継続して加入率を維持するとともに、活動状況を発表する機会を設定する。 ②生徒の地域活動への取り組みを通して、幅広いリーダーシップを身につける。</p>	<p>①部活動加入率の対前年度比較や発表会等発表内容 ②地域活動への参加回数、部活動実績の把握</p>	<p>①部活動加入率は過去3年来上昇傾向にあったが、本年度は81%にまで低下した。 ②山北町を中心に参加した企画・慰問・清掃活動等は生徒活動の年間活動計画に組み込まれるまでになった。部活動では全国大会に男子ソフトテニス部と弓道部が進み、弓道部は団体優勝した。関東大会に陸上競技部とカヌー部が進出した。</p>	<p>①部活動加入促進の歓迎会やキャンペーン・壮行会・報告会など、あらゆる機会を活用して部活動加入率の低下防止に努める。進路状況の好転に伴い生徒各自の危機感が薄れたか。山高生としての意識を喚起する。 ②対外活動は生徒会本部・部活動が中心で、実現させるには早めの準備調整が不可欠となる。部活実績の向上に伴い、予算の確保、活動場所の整備等、課題が多く、根本的な改革に努める。</p>	<p>&lt;評議員&gt; ・部活動で保護者の経済的負担に配慮がほしい。 ・地域内外からのスポーツに有望な人材確保を望む。 ・部活動が進路に繋がることを生徒に周知すべきである。 ・「ライブ in やまきた」では生徒が中心となり盛り上がった。PTAの昼食作りにも感謝する。 &lt;保護者&gt; ・部活動と学習の両立が生徒育成に繋がる。加入状況がよい。 ・スポーツリーダークラスに部活動に入っていない生徒がいる。</p>	<p>おおむねB ・入学してくるスポーツリーダーコースの生徒の変容が見られた。スポーツ系部活動を選択する生徒が若干減少傾向にある。 ・生徒の地域活動は定着したものと新規参加があるが、担当者の負担は増す傾向にある。事前準備や指導など、生徒の自発的な関わりが要求される。指導の改善と担当者の意識改革が急務である。</p>
<p>多様な人たちとの交流を推進し、地域等との連携を密にし、生きる力を育む。</p>	<p>①学校教育・行事への参加・協力等の交流を通して、地域・保護者との連携を図る。 ②地域の幼小中高間の交流を進め、相互の連携に努める。 ③スポーツの楽しさを広く地域に発信する。 ④本校独自の広報活動に加えて、各自治会や異種校と連携した広報活動を進める。 ⑤生徒へのボランティア活動の情報提供に努め、活性化を図る。</p>	<p>①学校教育と地域行事における交流回数 ②交流回数と生徒の参加状況 ③部活動の地域等との連携状況 ④HPアクセス数や更新回数 ⑤広報誌等への記事の提供と掲載回数</p>	<p>①山高祭は山北町役場との連携を密にし、地元各参加団体との関係も良好である。 ②説明会等を通して、対外活動のアピールに努めた。 ③地域と協働の諸活動について、HPや広報誌に多くの掲載の機会が得られた。 ④ボランティア活動の単位認定制度は継続した。参加生徒各自の意識も高い。</p>	<p>①山高祭は今後数年間、年間行事予定の関係から、設定日についての配慮が必要となる。 ②参加生徒の意識の高さを維持するためにも、日常生活全般において、山高生としてのプライドの育成に努める。 ③引き続き、地域等との諸活動PRに取り組む。 ④ボランティア活動参加については、リピーターの養成に努め、リピーターを核に参加者の増員を図る。</p>	<p>&lt;評議員&gt; ・学校HPの更新が早く、取り組みについてよくわかる。 ・山北町の人口減少に留意し、地域交流の発展を望む。 ・学校からの投げかけにとどまらず、生徒からの発信に多様性があることが生きる力に繋がる。 ・山北町との交流活動に感謝する。健康スポーツ大会では競技運営に加えて、子供たちとの擦れ合いが大変好評である。是非継続を要望する。 &lt;保護者&gt; ・山高祭は外来者増加を望む。地域の方との交流がよい。 ・学校HPは良く見ている。わかりやすい。</p>	<p>おおむねB ・山高祭雨天時の対応のため施設改善を行った。 ・参加団体への異装指導や参加ルールの順守など、改善すべき点がある。 ・参加内容についてより一層のレベルアップを図る必要がある。 ・地域交流活動の参加生徒を募集するのに時間がかかる。交流活動への生徒意識の啓発が必要である。</p>
<p>信頼に根ざした学校づくりを推進するとともに県立学校改革の基本方針に沿った改革を進める。</p>	<p>①広域避難場所として、地域と連携した災害時の体制整備を進めるとともに、職員、生徒の防災意識を高め、安全対策を徹底する。 ②教職員の事故・不祥事防止の研修体制の充実を図り、その防止の徹底に努める。 ③いじめの教育を推進し、いじめ防止基本方針に基づいた学校全体の取り組みに努める。 ④校内の体制づくりを行い、県立学校高校改革基本方針による改革の推進を図る。</p>	<p>①本校への地域貢献・ボランティア要請と山北町・保護者・生徒との連携状況 ②事故、不祥事防止研修会の実施と、事故・不祥事の有無 ③いじめアンケートによる検証や生徒の状況把握 ④取り組み状況</p>	<p>①地域との大規模な合同防災訓練において、生徒による救急処置等を行った。地域の行事に保護者とともに参加するなど、開かれた学校づくりが実現してきた。 ②定期的な研修と必要に応じた研修を行い、不祥事を起こさない体制の確立に努めた。 ③生徒一人ひとりに詳細なアンケートを取り、分析を行い、いじめの早期発見に努めた。</p>	<p>①地域との連携をより強めて、地域の中の学校の存在感を高めていけるように努める。 ②多岐に及ぶ事故防止対策を漏れることなく実施していくように努める。 ③生徒アンケートを詳細に分析し、いじめの状況を早急に掴める体制を確立する。</p>	<p>&lt;評議員&gt; ・合同防災訓練は中高連携での継続のため、実施の固定化を町に要望する。また、有事の際の学校施設活用等、地域との一体感の醸成が図られた。ぜひ継続を望む。 ・地域貢献デーは事前打ち合わせを要望する。 ・いじめをなくす対策を検討すべきである。良い事例を生徒に周知してよい効果を上げてほしい。 ・選挙権年齢引き下げへの対応を望む。 ・「いじめ」に関わる大きな問題が起こらず、よかった。</p>	<p>おおむねB ・地域貢献活動での山北中学校との連携で、生徒の言動に問題あり。来年は事前打ち合わせを実施。 ・いじめ問題で本校でも事例があり、職員全体で研修会を実施し、基本方針を再確認した。再発防止に努める。 ・高校改革方針に沿ったカリキュラムの改訂を推進し、概要が完成した。 ・入選業務学力検査採点において誤りが発覚し対象者に、誠意ある対応をした。再発を防止する。</p>